

主要施策	共に思いやり支え合う安心なまちを支える生活環境の充実
施策の柱	4 雪対策と冬に親しむまちづくり
施策の分類	快適な生活環境

■ 現状と課題

○道路交通

豪雪地帯に位置する自治体や各種道路管理者にとって、「冬期間の良好な道路空間確保」は共通の課題であり、当町においても、例外ではありません。しかしながら、毎年増える除雪延長やますます多様化する住民ニーズに対し、特に豪雪時においては、除排雪作業等が追いつかない現状にあります。

冬期間の安全な道路空間や歩行者空間の確保は十分であるとはいえません。

交通障害のない、更には交通弱者にも良好で優しいきめ細やかな除排雪作業を実施するために、より効率的な、より合理的な除排雪を目指す一方で、財政面では除排雪経費節減というディレンマを抱えています。

○生活環境

豪雪地帯に暮らす人々にとって、冬期間の降雪は水源など豊かな自然を育む礎となっている一方で、降雪時の日々の除雪作業は肉体的負担が大きく、特に屋根の雪下ろしは命の危険を伴う大変厳しい作業に苛まれます。現在ほとんどの町民は、雪片付けした雪や屋根から降ろした雪についてはそれぞれ個人の敷地内に堆積していますが、豪雪時には雪を置くスペース確保に窮していることから、「地域内の雪置き場」等の確保が求められています。

○福祉等対策

昨今地方部では過疎化が進み、当町でも老人世帯や空き家の件数が増加傾向にあります。このこともあり、冬期間における高齢者世帯の雪片付け作業中の事故や空き家の雪による建物崩壊などの問題も生じています。

特に独居高齢者世帯にとっては、毎日の雪片付けは肉体的にも精神的にも大きな負担を強いられるため、降雪時には外出を控えざるをえず、結果的に孤独感を助長させることも懸念されるため、ハード的な除排雪とは一線を画した福祉的な面からの援助が強く求められています。

○地域特性との共存

当町には、現在のところ地域特性を生かした冬期間のイベント等は執り行われておりません。その要因として、厳寒の冬期間を過ごす町民にとっては、「雪は厄介なるもの」という意識の存在が推測されることと、冬期間の広域的交通網の面的確保も課題として考えられます。

■ 目指す姿（基本方針）

○安心安全な道路空間の確保

冬期間において、誰もが安心して通行できる道路整備を目指します。

○暮らし優先の取り組み

それぞれの地区にあった雪捨て場の確保等、地区毎のニーズに合わせた対応に取り組みます。

○みんなに優しい人づくり

特に独居高齢者世帯や要援護者世帯を孤立させないために様々な関係機関が連携したネットワークづくりを目指します。

○地域特性を生かした催事への取り組み

「雪は財産である」という考えに立ち、富士見湖パークや鶴の舞橋等の観光施設を活用したうえで、更には地場産業をも取り込み多くの町民が雪と楽しむ「親雪」の場や機会を得られるように今までは無かった冬の催事の構築を目指します。

■ 施策の内容

○ 道路を管理する県や近隣市町村と連携し、より効率的・経済的な除排雪事業を実施します。融雪溝など消雪補助施設の整備や、堆雪帯を有した道路整備を実施します。

除雪した道路や歩道に雪を捨てない・捨てさせないなど住民のマナーアップと意識の啓蒙に努めます。

○ 積雪の多い時期や、吹雪で視界が悪い時期の交通事故発生を防ぐためにも、警察等の関係機関と連携し、事故防止の啓発を呼びかけます。

事故や災害が起きた場合に、積雪が救急車、消防車等の緊急車両の通行の妨げにならないよう、地域住民と連携しながら、万が一の場合に備えての走路の確保に努めます。

○ 地域ごとに、例えば廃校跡地や休耕田、その他使用可能な土地を雪置き場など有効に活用するなど協調意識の高揚に努めます。各地域への小型除雪機の貸与や借り上げなど官民が一体となった克雪対策を目指します。

○ 独居高齢者世帯等の要援護者世帯を孤立させないためにも今まで以上に地域ぐるみの声かけ運動を実施し、地域の和を広めます。民生委員等の、地域での関係団体と協力しながらの冬期間の見回りを、町内全ての地区に拡げます。

小学校・中学校・高校の児童や生徒の体験学習の場として高齢者世帯の雪掻きボランティアを実施し、社会勉強という目的のほか地域みんなの顔が見える、繋がる取り組みを実施します。

地域の人がまず見守り、できない部分は行政や社会福祉協議会が補助するという体制を強化し、「行政主導」ではなく、官民との「協働」を図ります。

○ 町内の地形的財産や地場産品を紹介し、そして雪の有効利用をみんなで考える「冬のイベント」の立ち上げに取り組みます。雪国に暮らす私たちが一年中笑顔で過ごせる町にするためにも、官民が協調し、助け合い、安心して暮らせる町にするために今後ともあらゆる施策を取り入れます。冬期は各地で様々なイベントが実施されておりますが、地域の特性を生かした、誰もが楽しめるイベントを実施します。

冬を「暗くて厄介なもの」から「明るくて楽しいもの」と思ってもらえるような町を目指します。

担当：建設整備課・町民生活課・健康保険課・産業観光課・教育委員会